

Ⅲ. 花き物流システム高度化委員会とその活動について

1) 目的

鉢物類や苗物類は、品目・品種によって荷姿が違う上、卸売業者ごとに流通に用いる運搬台車の形状が異なることから、生産車においては仕分けに多くの時間を要すること、流通業者においては、トラックの積載効率が悪くなること等の課題がある。また、トラックドライバー不足も課題となっている。

こうした課題を解決し、花き物流の高度化を図るため、次の事業を行うとした。

- ・台車の規格統一及び生産者～共同出荷拠点～市場～小売までの一貫しての台車利用
- ・ソースマーキングによる物流全体の高度化
- ・ICチップを利用した流通システム構築 台車と商品にICチップを搭載し、トレサビリティ管理
- ・輸送業者が集荷拠点を活用した効率的な集荷出荷体制の構築

これらを具体的にすすめるにあたり、花き物流高度化委員会を設置した。

2) 内容

2-1) 委員会及び部会の設置

花き物流システム高度化委員会に「検討委員会」、「台車規格部会」、「流通システム部会」を設けた。

2-2) 委員会及び部会の業務内容

①) 検討委員会

- ア 事業の全体計画策定
- イ 事業の進行管理
- ウ 事業取りまとめ

②) 台車規格部会

- ア 産地から市場や販売先まで用いられる運搬台車の規格統一

③) 流通システム部会

- ア 流通システム転換に向けた社会実験
 - Ⅰ ICチップの導入等による輸送中の商品の効率管理などを可能とする集出荷システムの導入に向けた実証（ICチップでの商品及び台車管理）
- イ 共同出荷輸送を行う物流システムの導入に向けた実証
 - 輸送業者が集荷拠点を活用した効率的な集荷出荷体制の構築

表1 検討委員会名簿

役職	氏名	所属
委員長	青木 一芳	(株) 宇都宮花き 代表取締役社長
副委員長	中嶋 強	(株) 仙花 代表取締役社長
副委員長	豊吉 伸司	(株) フラワーオークションジャパン 取締役
学識経験者	寺嶋 正尚	産業能率大学 准教授
学識経験者	桐生 進	(株) 大田花き花の生活研究所 所長
委員	吉田 誠	(有) 吉田園芸 代表取締役社長
"	白木 裕人	岐阜花き流通センター農業協同組合 理事
"	皿井 喜清	いずみ鉢物園芸組合 組合長
"	吉田 智	(株) J F 兵庫県生花 常務取締役
"	中島 宏	(株) フラワーオークションジャパン 情報システム部長
"	重村修一郎	豊明花き(株) 経営企画室長
"	地下 智宏	日本植物運輸(株) 常務取締役
"	岡本 篤知	コーナン商事(株) 園芸植物担当バイヤー
"	片桐 良輔	パーソナル情報システム(株) システム営業部次長

表2 台車規格部会名簿

役職	氏名	所属
部会長	豊吉 伸司	(株) フラワーオークションジャパン 取締役
部会員	桐生 進	(株) 大田花き花の生活研究所 所長
"	白木 裕人	岐阜花き流通センター農業協同組合 理事
"	地下 智宏	日本植物運輸(株) 常務取締役
"	横井 一人	豊明物流(株) 物流部長
"	廣澤 秀人	(株) J F 兵庫県生花 執行役員営業本部長
"	岡本 篤知	コーナン商事(株) 園芸植物担当バイヤー

表3 流通システム部会名簿

役職	氏名	所属
部会長	中嶋 強	(株) 仙花 代表取締役社長
部会員	寺嶋 正尚	産業能率大学 准教授
"	桐生 進	(株) 大田花き花の生活研究所 所長
"	豊吉 伸司	(株) フラワーオークションジャパン 取締役
"	吉田 誠	(有) 吉田園芸 代表取締役社長
"	中島 宏	(株) フラワーオークションジャパン 情報システム部長
"	吉田 智	(株) J F 兵庫県生花 常務取締役

〃	重村修一郎	豊明花き（株） 経営企画室長
〃	白木 裕人	岐阜花き流通センター農業協同組合 理事
〃	地下 智宏	日本植物運輸（株） 常務取締役
〃	岡本 篤知	コーナン商事（株） 園芸植物担当バイヤー
〃	傍島 昌代	パーソナル情報システム（株） 流通システム部コンサルタント

表4. 委員会及び部会開催概要

開催日	内容	議題
2018年6月12日	第1回検討委員会	全体計画検討
2018年6月12日	第1回台車規格部会	事業計画・進め方検討
2018年6月12日	第1回流通システム部会	事業計画・進め方検討
2018年6月28日	流通システム部会小委員会	参加市場とのシステム調整
2018年8月23日	第2回台車規格部会	試作台車の検証
2018年9月18日	第2回流通システム部会	システム基本設計検討
2018年9月18日	第2回検討委員会	事業進捗状況の確認
2018年10月22日	第3回検討委員会（各部会 合同会議）	第1回社会実験打合せ
2018年12月3日	第4回検討委員会（各部会 合同会議）	第2回社会実験打合せ
2019年2月19日	第5回検討委員会（各部会 合同会議）	社会実験結果報告・纏め方検討
2019年2月26日	取り纏め会議	取り纏め
2019年3月8日	取り纏め会議	取り纏め

5. 共同出荷輸送社会実験

実験はシステム等の稼働シミュレーションと社会実験と二回に分けて行った。

社会実験は作業時間等を時間計測し、既存の流通との比較を行うため複数回行った。

1) システム稼働実験シミュレーション：2018年10月23日実施

産地	市場	小売店
吉田園芸（埼玉）	F A J	ホームセンターコーナン 本羽田萩中店

2) 第1回社会実験：2018年11月24日～27日実施

産地	市場	小売店
吉田園芸（埼玉）	F A J	ホームセンターコーナン 本羽田萩中店
皿井植物園（愛知）	豊明花き	ホームセンターコーナン 砂田橋店
岐阜花き流通センター	兵庫県生花	ホームセンターコーナン 箕面萱野店

* 社会実験は、産地→市場→小売店 となるよう設計し、そのセットは色で表している。

3) 第2回社会実験：2019年1月26日～29日実施

産地	集荷拠点	市場	小売店
吉田園芸（埼玉）	日植埼玉 営業所	F A J	ホームセンターコーナン 本羽田萩中店
皿井植物園（愛知）	-	豊明花き	ホームセンターコーナン 砂田橋店
岐阜 生産者A	岐阜花き流 通センター	豊明花き	ホームセンターコーナン 砂田橋店
岐阜 生産者B		兵庫県生花	ホームセンターコーナン 箕面萱野店
岐阜 生産者C			

* 社会実験の区分けは色で示した。

なお、二回目の社会実験は、一回目よりも細かく分析を行った。産地と集荷拠点を分けて集計する事で実態にあった精度の高い社会実験とするためである。